

2025 年 11 月 21 日

各 位

碧海信用金庫

有限会社井鈴工業所との
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、有限会社井鈴工業所（代表取締役：村松 由美子）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんＳＬＬ）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんＳＬＬ」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（ＳＰＴｓ）として設定したＣＯ２排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：有限会社井鈴工業所
所 在 地：半田市州の崎町 2 番地 127
代 表 者：村松 由美子
事業内容：金属加工（研磨・表面処理）、洗浄

3. 契約内容

実 行 日：2025 年 11 月 21 日
期 間：10 年
融資金額：非公表
資金使途：設備資金



以 上

有限会社井鈴工業所 サステナビリティ・リンク・ローン概要

【有限会社井鈴工業所の概要】

有限会社井鈴工業所

代表取締役 村松 由美子

<http://isuzu-industry.com>

- ・有限会社井鈴工業所（以下：当社）は平成4年4月に創業、平成10年9月に法人設立した自動車部品等の表面研磨加工企業。
- ・「金属加工のスペシャリストが長年培ってきた技術と厳しい品質管理で安心と信頼を。」を経営理念に、ISO9001およびISO14001を取得しており、全国対応・小ロット対応・確かな品質の実現に努めている。

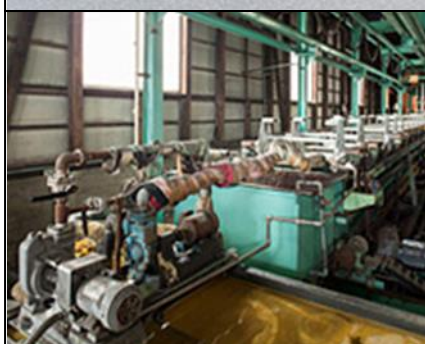
<当社の事業について>

バレル研磨加工

- ・各種バレル機を使い、多種多様な素材の研磨が可能
- ・当社独自の蓄積されたノウハウと充実した設備により、お客様のご要望に合った最適な研磨方法を提案

鏡面仕上げ

- ・複雑な形状の部品でも磨き残しやムラのない仕上がり
- ・熟練技術者の技と充実した設備で大小ロットに対応
- ・表面粗さ測定機による計測も可能

アルカリ洗浄

- ・アルカリ溶液による脱脂で製品の油分を洗浄、除去
- ・洗浄脱脂工程での油の処理などの課題を解決
- ・酸による膜取りにも対応

<当社のサステナビリティ>

- ・品質および環境方針に関する自社の基本理念や方針を以下の通り掲げ、品質マネジメントシステムであるISO9001と環境マネジメントシステムであるISO14001を取得しており、環境負荷の低減に取り組んでいる。

【基本理念】

有限会社井鈴工業所は、金属表面処理加工（バレル研磨・鏡面仕上げ・洗浄）に関わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき品質・環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

【方針】

1. 環境影響を常に認識、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。
3. 顧客満足・環境影響のうち、“不良品発生によるエネルギーロスの削減”を品質・環境管理重点テーマとして取り組みます。
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動と顧客満足を得る為の行動を積極的に実践できるように、この品質・環境方針を全従業員・臨時職員に周知するとともに社外へも公表します。
5. 半田市環境保全条例に基づく地域の環境改善活動に積極的に参加します。

・SDGs行動宣言の公表（右図）

1. 会社と従業員とその家族が一体となり、健康づくりを推進しています。
2. 私たちは女性が働きやすい職場づくりを進めます。
3. 金属加工に関する廃液を河川に流さない運用で、健全な水質を維持します。



・環境保全に対応した排水処理設備を完備

1. 工場内から出る排水に油が混じっていても、中和・分解処理をすることが可能
2. 分解後の油は外部業者が引き取り

種類：給水タンク、油水分離槽、混合槽、PH調整槽、凝集槽、沈殿槽、放流槽



【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したK P Iは当社におけるC O 2排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したS P T sは2024年11月30日（2023年度）を基準日とする対比により、2035年11月30日（2034年度）にC O 2排出量の削減率30.8%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にC O 2排出量の削減率を公表し、初回判定は2026年11月30日（2025年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2024/11/30	基準日時点排出量(単位：t-CO ₂)			197.03
基準日以降各年次	2026/11/30	2027/11/30	2028/11/30	2029/11/30	2030/11/30
基準日比削減率(%)	5.6	8.4	11.2	14.0	16.8
基準日以降各年次	2031/11/30	2032/11/30	2033/11/30	2034/11/30	2035/11/30
基準日比削減率(%)	19.6	22.4	25.2	28.0	30.8

【S P T sの野心性】

- ・当社はScope1、Scope2のC O 2排出量において、2030年度までの国内目標を上回る水準の削減計画を策定している。
- ・当社自身のトラックレコードとの比較についても、野心性が認められる。

【S P T s達成手段】

- ・Scope1については、環境負荷の低減やコスト削減を図るため、将来的に社有車のE V化を検討する。
- ・Scope2の電力については、太陽光発電設備を設置する。施工業者のシミュレーションでは年間電気量を約18%削減する想定。また、省エネ電力メニューやJクレジットの購入を検討する。
- ・Scope3については、将来的には算定・削減を検討していく。

【S P T sの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるS P T sの妥当性について検証した結果、へきしんS L LのC O 2排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以 上